



心揺さぶられる**感動**をありがとう ～ **激走** 駅伝大会 ～

先週金曜日(10/2)、いまり夢みさき公園において「伊西地区中学校駅伝競走大会」が開催されました。部活動や社会体育の垣根を超えて、各学校の精鋭たちによる本大会は、年度最後の中体連種目として毎年盛り上がる伝統ある大会です。

森先生・宮崎先生の指導の下、今年も夏休み後半から練習を積んできました。途中、暑さで体調を崩したり、疲労で足を痛めたりした生徒もいましたが、最後まで全員がリタイヤすることなく本番を迎えることができました。それだけでも本当に素晴らしいことだと思います。

結果は当日のあんしんメールでお知らせしたとおりですが、男子は2位とわずか11秒の僅差で県大会出場を逃しました。試合後の子どもたちは、声をかけるのも苦しくなるほど、人目をはばからず涙を流していました。特に3年生は中学最後のこの大会に賭けていたからこそなおさらだったと思います。

女子は1・2年生で編成されたチームでした。今年の経験を来年、再来年につなぐとともに、新たな伝統を築いてほしいと思います。

また、ロードレースには男女8名が出場しました。その中で2年生のTさんが、風を切るような激走を見せ、見事1位でゴールしました。とてもカッコ良かったです。

駅伝は、古代の交通・通信制度「駅伝制」にルーツがあるといわれます。道路上に一定間隔で「駅」を置き、馬や人を交代させながら手紙など大事なものをリレー方式で運んだことをもとに、人が走って櫛(タスキ)をつなぐ競技として誕生しました。

櫛には仲間の思いや汗が刻まれていきます。3年生からの櫛は、既に1・2年生に手渡されました。来年の駅伝大会は、もう既に始まっています。3年生が成しえなかった夢を今度は1・2年生がしっかりとつないでくれることを期待すると同時に、この素晴らしい伝統をこれから先もつないでほしいと切に願います。

来週から**制服登校**です

朝夕の風に秋の到来を感じる時季となりました。まだまだ半袖・ハーフパンツで登校してくる生徒もおりますが、来週13日(火)から「制服登校」に戻したいと思います。制服をしまわれているご家庭につきましては、準備の方をよろしくお願いいたします。

校長室より 人生は「負け」や「失敗」から学ぶことの方が多い

世の中では「勝つこと」や「成功すること」が称賛されます。しかし、私は人生を振り返ると、本当に自分を成長させてくれたのは「勝利」よりも「敗北」だったように思います。

負けたとき、人は初めて自分の弱さと向き合います。失敗したとき、人は初めて何が足りなかったのかを真剣に考えます。悔し涙を流した人ほど、次に向かう力を身につけていくものです。

今回の駅伝大会で悔しい思いをした人もいるでしょう。「自分がもっと頑張っていたら」と自分を責めている人もいるかもしれません。しかし、その悔しさを知っているからこそ、人の気持ちが分かるようになり、これから先の人生で大きく成長していくのだと思います。

勝った経験は自信になります。しかし、**負けた経験は優しさになります。失敗した経験は人の痛みが分かる力になります。**

人生の財産は、案外そうした悔しさの中に隠れているのかもしれません。

By 高校時代自分のエラーで負けた経験のある先生より(^^)/